平成24年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月７日

上 場 会 社 名	株式会社　ガイアックス	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	3775	URL	http://www.gaiax.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表執行役社長	(氏名)上田　祐司	
問合せ先責任者	(役職名)執行役財務部長	(氏名)小高　奈皇光	TEL (03)5759-0376
四半期報告書提出予定日	平成24年11月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成24年12月期第３四半期の連結業績（平成24年１月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第３四半期	2,856	12.7	△25	―	△36	―	117	―
23年12月期第３四半期	2,534	16.9	△25	―	△33	―	△17	―

（注）　包括利益　24年12月期第３四半期　117百万円(－%)　23年12月期第３四半期　△15百万円(－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第３四半期	4,922 26	4,868 71
23年12月期第３四半期	△701 86	―

（注）当社は、平成23年７月１日及び平成24年７月１日にそれぞれ１株につき1.3株の割合で株式分割を行っております。これにより、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第３四半期	1,766	374	19.4
23年12月期	1,990	289	12.4

（参考）　自己資本　24年12月期第３四半期　342百万円　23年12月期　247百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0 00	―	0 00	0 00
24年12月期	―	0 00	―		
24年12月期(予想)				0 00	0 00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年12月期の連結業績予想（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	3,600	5.1	△150～△50	―	△190～△90	―	△50～50	―	△2,091 08～2,091 08

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成24年７月１日を効力発生日として１株につき1.3株の割合で株式分割を行っております。このため、平成24年12月期の通期の１株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規２社（社名）株式会社テンエックスラボ、株式会社GaiaX Interactive Solutions

除外ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　有

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（注）「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第14条の７（会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合）に該当するものであります。詳細は、添付資料P.５「２.（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期３Ｑ	30,488株	23年12月期	30,488株
②　期末自己株式数	24年12月期３Ｑ	6,955株	23年12月期	6,419株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期３Ｑ	23,911株	23年12月期３Ｑ	24,627株

（注）　当社は、平成23年７月１日及び平成24年７月１日にそれぞれ１株につき1.3株の割合で株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P４「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期決算に関する定性的情報 ……２
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ……２
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ……３
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ……４
2.　サマリー情報（その他）に関する事項 ……５
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……５
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……５
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……５
(4) 追加情報 ……６
3.　四半期連結財務諸表 ……７
(1) 四半期連結貸借対照表 ……７
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……９
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間
(3) 継続企業の前提に関する注記 ……11
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、生産の減少や小売売上高の低迷を背景に、景気は下振れしていますが、2010年代半ばに向けて回復基調が見込まれています。一方、国内のインターネットビジネス市場は、この一年でスマートフォン市場が飛躍的に拡大し、iPadを始めとするタブレット端末の普及が、その動きをさらに拡大させています。また、mixiやFacebookに代表されるSNSやTwitterといったソーシャルメディアの利用率も、Facebookが24.5％（昨年8.3％）、Twitterが26.3％（昨年15.5％）、Mobageが8.4％（昨年6.3％）、GREEが7.8％（昨年8.3％）と、大きく成長。特にFacebook利用者の増加が、昨年32.1％であったSNS利用率を45.6％に引き上げる結果となっていることから、今後もインターネットビジネス市場は大きな影響力を持つと予測されます。このような状況のもと、当社グループはソーシャルメディアの構築・運営・監視及びソーシャルアプリサポートのリーディングカンパニーとして、引き続き事業の拡大を図って参りました。

当第３四半期連結累計期間の業績は、ソーシャルアプリサポートサービスの売上が大幅に増加いたしました。またFacebook関連のアプリについても徐々に売上が伸長してきており、結果、2,856,499千円(前年同期比12.7％増)の売上高となりました。営業損益については、案件数増加に伴う人件費の増加及び人材採用コスト等の増加により25,292千円(前年同期は25,083千円の損失)の損失となりました。経常損益は、持分法による投資損失などがあり36,410千円(前年同期は33,903千円の損失)の損失となり、特別損益には、投資有価証券の売却益及び持分変動利益があり、当第３四半期連結累計期間は、117,696千円(前年同期は17,285千円の損失)の四半期純利益となりました。

(ソーシャルサービス事業)

≪法人向けソーシャルメディア活性化サービス≫

Facebookに代表されるソーシャルネットワークやTwitterに代表される（マイクロ）ブログなど、企業によるソーシャルメディア活用のための企画提案・アプリケーション開発や、ガイアックスソーシャルメディアラボによるソーシャルメディアの啓蒙活動などを実施

≪法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス≫

同ソーシャルメディアを企業が運営する上で、24時間体制での運営サポートや投稿監視サービスなどを、日本語及び英語を中心とした多言語にて提供

≪教育機関向けソーシャルリテラシーサービス≫

学校裏サイトの監視やネットいじめ対策コンサルティングである「スクールガーディアン」や、若い世代の前向きなソーシャルメディア活用を推進するネットリテラシー講座などを提供

≪ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス≫

ソーシャルゲームに対するユーザー様からの問い合わせなどにつき、対応代行を24時間・多言語体制で行う「ソーシャルアプリサポート」を提供

≪法人向けソーシャルネットワークサービス≫

企業の社内コミュニケーションを有機的に活性化していくクラウド型社内SNS「エアリー」などを提供

≪デジタルコンテンツサービス≫

モバイル／スマホ向けコンテンツ配信「モバリスト」などを提供

当第３四半期連結累計期間におきましては、前年度に引き続き≪法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス≫及び≪ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス≫の売上が順当に増加しております。Facebookページの多言語に対応した投稿監視サービスの開始、オークファンの提供する違法な出品物を自動検知するオークション不正出品物検知ツール「auc-checker」と連携した投稿監視サービスの提供など、健全なインターネットコミュニティ構築を推進しています。また、昨年刊行された『ポケット百科 facebook 知りたいことがズバッとわかる本』の内容を大幅にバージョンアップし再構成した、『ポケット百科 facebook 知りたいことがズバッとわかる本　増補 改訂版』（ガイアックス ソーシャルメディア ラボ監修・著）を2012年７月２日に発売。Amazonランキング　コンピュータ・IT部門にて１位を獲得いたしました。

この結果、売上高については1,613,494千円(前年同期比20.5%増)となり、営業損益は、43,935千円(前年同期は47,120千円の損失)の利益となりました。

(受託開発事業)

受託開発事業におきましては、子会社の株式会社電縁が主力事業としております。当第３四半期連結累計期間の業績は、前連結会計年度末より既存顧客からの継続案件が安定的に受注でき売上高は、1,281,632千円(前年同期比4.0%増)の増収となったものの、営業損益については、開発外注費及び人件費が嵩み利益が圧迫され35,731千円(前年同期比73.0%減)の営業利益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて16.4%減少し、1,511,431千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が27,933千円減少したこと及び現金及び預金が298,748千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて39.6%増加し255,146千円となりました。これは、企業結合等を行ったことによりのれんが20,400千円増加したこと及び投資有価証券が25,087千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11.3%減少し1,766,578千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12.1%減少し913,465千円となりました。これは、短期借入金が102,000千円減少したこと及び一年内返済予定の長期借入金が58,110千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて27.6%減少し478,884千円となりました。これは、主に長期借入金が141,132千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて18.1%減少し、1,392,349千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて29.0%増加し、374,228千円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により117,696千円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期通期連結業績予想の売上高につきましては、近年のソーシャルネットワークサービス（SNS）や（マイクロ）ブログなどソーシャルメディアの成長傾向が継続し、堅調な売上高を維持しております。

一方、平成24年12月期通期の連結利益予想につきましては、より一層のサービス開発・人材採用・事業開発を精力的に行う予定であり、現時点では平成24年８月１日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。結果として費用が大きく先行する可能性があるものの、投資縮小による利益水準の確保ではなく投資拡大により中長期的な利益構造を築くことにより、株主様の期待に応えたいと考えております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第２四半期連結累計期間において、㈱テンエックスラボ、㈱GaiaX Interactive Solutionsを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用については、従来、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっておりましたが、四半期会計期間の税金費用をより適切に計算するため、第１四半期連結会計期間より年度決算と同様の方法で、納付税額の算出にあたり加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法に変更しております。

なお、変更後の方法を前第３四半期連結累計期間に適用した場合、四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(減価償却方法の変更)

第２四半期連結会計期間より、法人税法の改正に伴い、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(１株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準(企業会計基準第２号平成22年６月30日)、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日)及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第９号　平成22年６月30日)を適用しております。当第３四半期連結会計期間において株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第３四半期連結累計期間の１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

１株当たり四半期純利益	△912円43銭
潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	―

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

（連結納税制度の適用）

第１四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,333,928	1,035,179
受取手形及び売掛金	412,321	384,388
仕掛品	21,279	45,006
その他	44,205	50,282
貸倒引当金	△3,821	△3,425
流動資産合計	1,807,914	1,511,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,757	40,563
工具、器具及び備品（純額）	12,579	27,414
有形固定資産合計	47,336	67,977
無形固定資産		
ソフトウエア	12,677	10,655
のれん	1,053	21,453
その他	145	145
無形固定資産合計	13,876	32,254
投資その他の資産		
投資有価証券	1,382	26,469
長期預金	15,200	15,060
敷金及び保証金	75,381	75,502
その他	36,467	47,875
貸倒引当金	△6,892	△9,993
投資その他の資産合計	121,538	154,913
固定資産合計	182,751	255,146
資産合計	1,990,665	1,766,578

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	203,428	163,079
短期借入金	202,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	226,786	168,676
1年内償還予定の社債	74,000	41,000
未払費用	130,335	129,048
前受金	81,042	125,277
預り金	27,884	24,428
未払法人税等	2,446	218
賞与引当金	－	25,000
その他	91,737	136,737
流動負債合計	1,039,660	913,465
固定負債		
社債	151,000	110,000
長期借入金	477,616	336,484
その他	32,400	32,400
固定負債合計	661,016	478,884
負債合計	1,700,676	1,392,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	376,858	377,540
利益剰余金	△51,563	66,132
自己株式	△178,504	△201,863
株主資本合計	246,790	341,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△72	△36
為替換算調整勘定	381	346
その他の包括利益累計額合計	308	309
新株予約権	42,889	32,108
純資産合計	289,988	374,228
負債純資産合計	1,990,665	1,766,578

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	2,534,893	2,856,499
売上原価	1,638,170	1,826,833
売上総利益	896,723	1,029,665
販売費及び一般管理費合計	921,806	1,054,958
営業損失（△）	△25,083	△25,292
営業外収益		
受取利息	703	1,035
助成金収入	2,886	10,061
講演・原稿料収入	1,152	－
為替差益	－	1,193
償却債権取立益	－	1,800
その他	2,625	1,111
営業外収益合計	7,367	15,202
営業外費用		
支払利息	7,325	8,183
為替差損	6,504	－
支払保証料	681	487
貸倒引当金繰入額	1,160	55
持分法による投資損失	－	17,047
その他	515	545
営業外費用合計	16,187	26,320
経常損失（△）	△33,903	△36,410
特別利益		
投資有価証券売却益	48,180	88,745
持分変動利益	－	51,823
新株予約権戻入益	202	15,743
償却債権取立益	1,800	－
訴訟関連債務戻入益	23,834	－
特別利益合計	74,017	156,312
特別損失		
固定資産除却損	2,082	－
特別損失合計	2,082	－
税金等調整前四半期純利益	38,031	119,901
法人税、住民税及び事業税	55,316	2,205
法人税等合計	55,316	2,205
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△17,285	117,696
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△17,285	117,696

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△17,285	117,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,372	36
為替換算調整勘定	－	△34
その他の包括利益合計	1,372	1
四半期包括利益	△15,912	117,697
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,912	117,697
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変更があった場合の注記

平成24年７月１日付にて行った株式分割に伴う端数株式の買受により自己株式が25,093千円増加しております。この結果、当第３四半期連結会計期間末における自己株式は201,863千円となっております。